

## 令和8年度 みなみ野病院 業務負担軽減計画

- 1) 負担軽減推進組織
- 2) 負担軽減及び処遇の改善に関する責任者
- 3) 負担軽減・勤務環境改善計画

負担軽減委員会  
 事務部 諫山 兼治

## 【目的】

当院における業務状況を鑑み負担軽減計画を策定、実行することにより、ワークライフバランスを重視し離職率の低減を図ること、働きやすい職場環境の構築を目的とする。

職種	新・既区分	現状・問題点	対応方針	説明	令和8年度の目標	具体的な計画	目標達成年度	令和8年度末 達成状況		
看護職員	既設	入退院時の事務作業、書類の整理、調整などに時間を要している	相談員・事務職による入院説明・調整	入退院支援室での入院相談の一本化ならびに入院説明・調整を継続して行う。	入退院支援室での入院説明・調整の一本化を継続維持する。	入院説明の実施	令和9年3月31日	達成・未達成		
	既設		看護補助者による病棟事務作業担当の配置	入退院時の事務作業、書類の整理などの業務を看護補助者へ移行することにより、看護業務の負担軽減を継続的に図る。	病棟クラークの離職防止を継続することで、看護業務負担軽減体制を継続する。	病棟クラークの配置	令和9年3月31日	達成・未達成		
医師	既設	医師の業務負担軽減	薬剤師による服薬指導の実施	入院患者の服薬指導や副作用の観察等を行い、診療の省力化と患者の安全管理を行う。	服薬指導件数2,040件目標。	服薬指導件数の目標設定	令和9年3月31日	達成・未達成		
	既設	医師の業務負担軽減	医師事務作業補助者による健診オーダー	職員健康診断の電子カルテオーダーを、医師事務作業補助資格者により行う。	医師事務作業補助有資格者1名増員。	職員健康健康診断	令和9年3月31日	達成・未達成		
	新設	医師の業務負担軽減	放射線技師による健診オーダー	職員健康診断の電子カルテオーダーを、放射線技師により行う。	胸部レントゲンの定期健康診断オーダー代行入力を全件行う。	職員健康健康診断	令和9年3月31日	達成・未達成		
看護職員	既設	看護職員の業務負担軽減	臨床検査技師による採血の実施	患者採血・インフルエンザ検査採取・デキスターコントロールチェックを臨床検査技師にて実施し、看護業務の負担軽減を継続的に図る。	現状の維持と必要に応じ見直しを行う。	採血等実施	令和9年3月31日	達成・未達成		
	既設		臨床検査技師によるコロナウイルス検査業務の実施、搬送業務の負担軽減	検査科によりコロナウイルス陽性検査を実施する。また、エコー検査を病室内で実施することで、搬送業務の負担を軽減する。	現状の維持と必要に応じ見直しを行う。	検査科によるコロナ検査病室内のエコー検査実施	令和9年3月31日	達成・未達成		
	既設		リハビリテーション科による日常生活援助	患者送迎、日常生活援助（排泄介助・配膳・離床等）を行う。	継続し、院内クラスター時についても対応する。	日常生活援助	令和9年3月31日	達成・未達成		
	既設		放射線技師による患者搬送の実施	CT撮影後の、車いす患者の病棟への搬送を放射線技師が行う。	継続して対象患者がいた場合は病棟への搬送を実施する。	患者搬送の実施	令和9年3月31日	達成・未達成		
	既設		臨床工学技士による医療機器管理の強化	臨床工学技士配置を行い、医療機器の日常点検・定期点検等、医療機器管理業務を移行することで看護業務の負担軽減を図る。	臨床工学技士により医療機器修理を実施し、院内での迅速な対応を可能とする。	医療機器の管理	令和9年3月31日	達成・未達成		
	既設		看護職員から看護補助者へのタスク・シェア、タスク・シフト	看護補助者の更なる活用のための看護管理者研修を活用し、更に看護補助者が活躍できるように育成や労働環境の整備等を行う。	看護補助者の更なる活用のための看護管理者研修受講実績：2名。	研修の受講	令和9年3月31日	達成・未達成		
	既設 (強化)		短時間就労者採用による看護補助者増員	入浴・シーツ交換担当等、短時間就労の枠を広げた採用活動を実施する。院内での紹介活動の推進・地域のイベントに積極的に参加し病院を知ってもらう取組みを実施する。	継続して入浴・シーツ交換者の短時間就労採用をすすめる。外国人採用を進める。	採用活動	令和9年3月31日	達成・未達成		
	既設		薬剤師による病棟業務の拡充	医療安全の確保の観点からも、薬剤師による病棟業務を拡大させることで、看護業務の負担軽減を図る。持参薬・定時薬の確認・セット。	1階病棟に担当薬剤師を配置する。	病棟薬剤業務実施加算	令和9年3月31日	達成・未達成		
	既設		栄養科による朝トロミ茶の提供	栄養科より患者の朝トロミ茶の提供をする。	院内クラスター時など多職種の協力が必要時にも提供できるよう継続する。	栄養科による食事提供	令和9年3月31日	達成・未達成		
	既設		仮眠2時間を含む休憩時間の確保	看護補助職員の夜勤配置を1名体制から2名体制に充実させることにより、看護業務の負担軽減を継続的に図る。	全病棟での夜間看護補助職員配置を2名体制で実施。	夜間看護加算	令和9年3月31日	達成・未達成		
	既設		医療度・介護度の高い患者が多く、食事介助、口腔ケア、体位交換、入浴介助など日常生活援助に関する業務が多忙である。	看護業務に専念できる環境整備	看護補助職員の増員を目指し看護業務の負担軽減を継続的に図る。	令和6年度目標採用人数目標8名	看護補助加算	令和9年3月31日	達成・未達成	
	既設		清掃業者への業務委託の促進	看護職、看護補助者による病棟内、病室内の清掃について、業務範囲を明確にした上で業務委託を拡大することによる業務負担軽減を継続的に図る。	現状の維持と必要に応じて見直しを行う。	清掃業者への業務移行	令和9年3月31日	達成・未達成		
全職員	既設	メンタルヘルス	委員会設置による相談体制確立	日々の業務にて疲労やストレスが増大する可能性を鑑み、病院職員等の悩み等を相談できるメンタルヘルス対策を講じることで、負担軽減を図る。	院内医療安全安全管理室にて、初期対応体制を構築する。	健全で明るい職場環境づくり委員会の設置	令和9年3月31日	達成・未達成		
	既設	妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する勤務環境改善	早期復職・人員確保の推進	育児休暇からの復職支援、また子育て中の方の就労支援を目的に設置した保育室受け入れ対象職種を拡大を図る。（看護職、看護補助者以外の職種への拡大）	保育室の空き状況を定期的に周知し、一時利用を含めて利用可能であることを周知する。	院内保育所の受入対象職種の拡大	令和9年3月31日	達成・未達成		